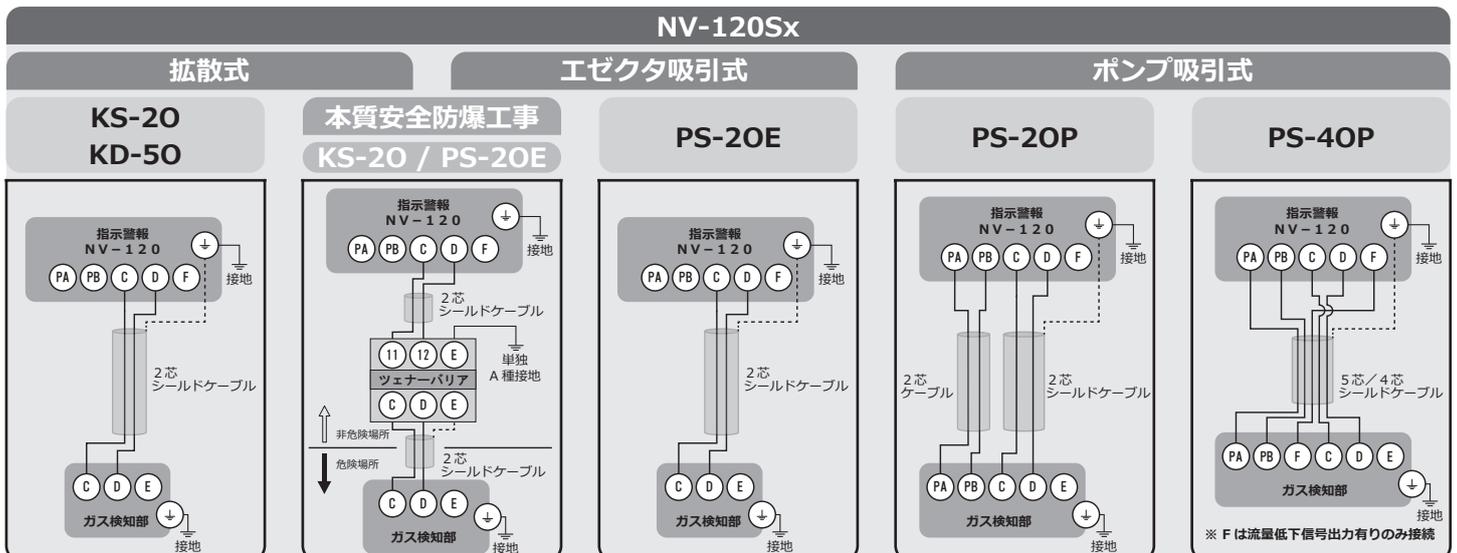
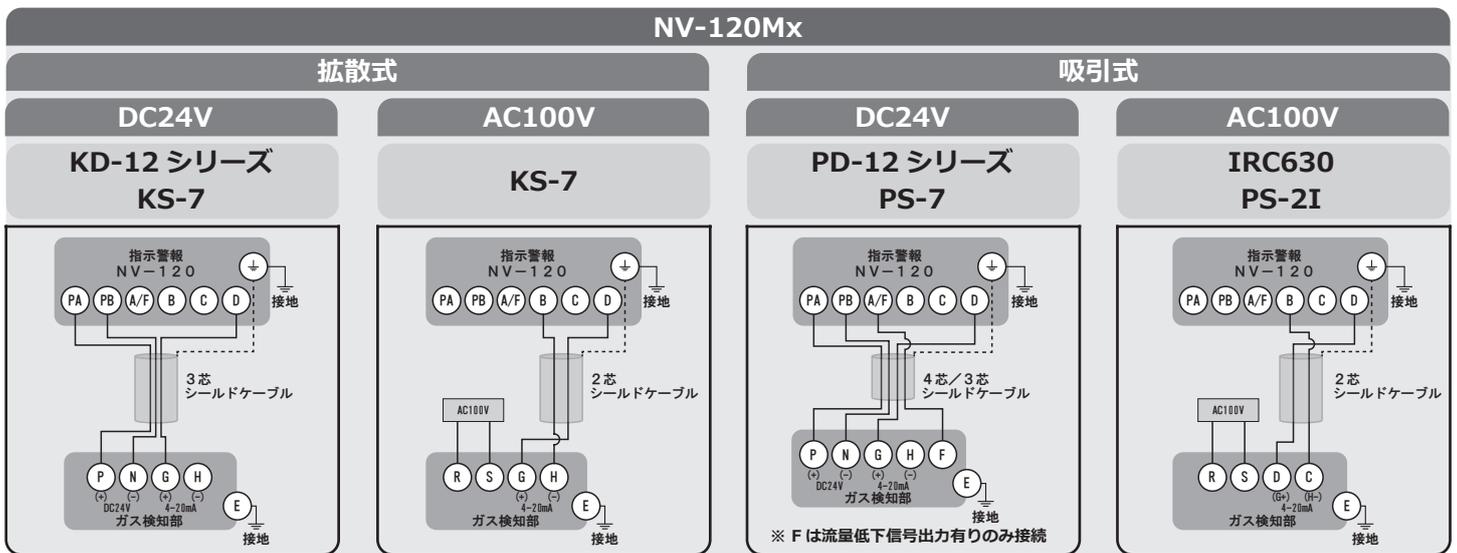
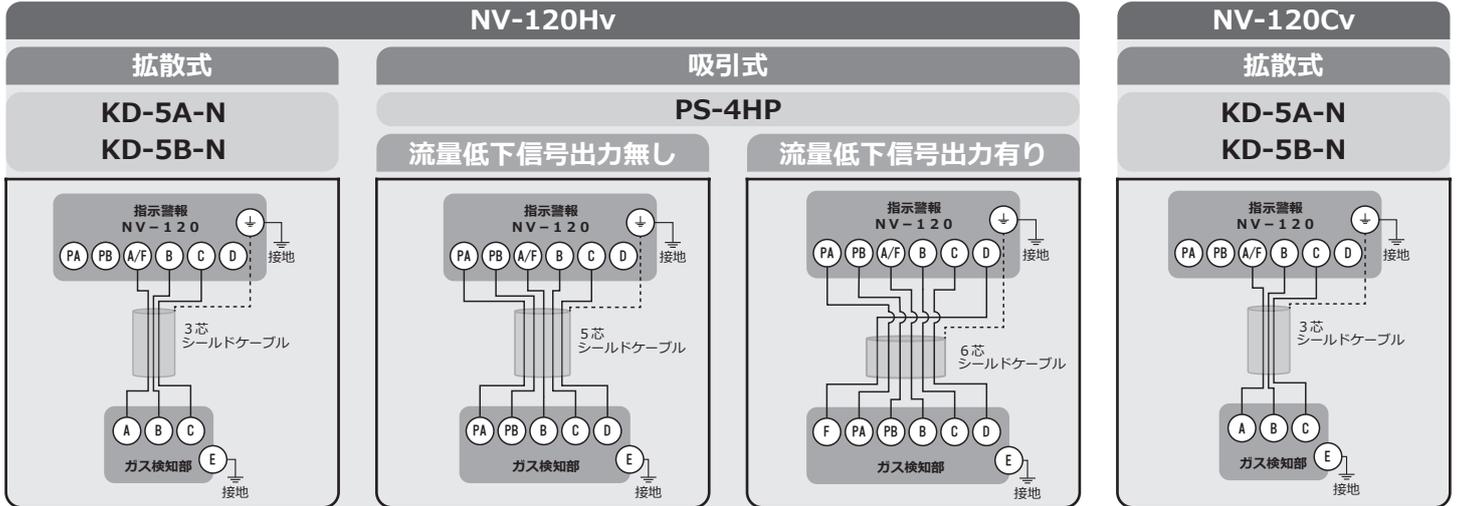


本書は本器とガス検知部の接続例となります。

⚠ 注意

- 各配線は仕様毎にことなります。型式を確認の上、配線を行ってください。
- 本書と併せて必ず同梱の「取扱説明書 設置編」をよく読んで理解してから作業を行ってください。正しく配線を行わないと機器が破損するおそれがあります。



NV-120x

拡散式

エゼクタ吸引式

ポンプ吸引式

KS-2D
KD-5D
KCM-3A

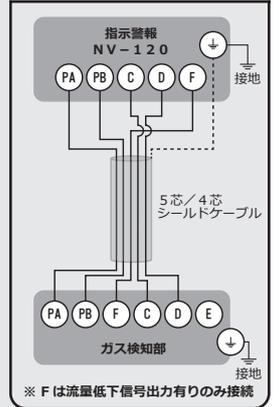
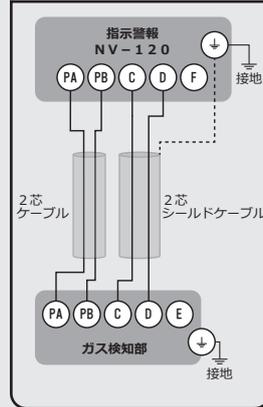
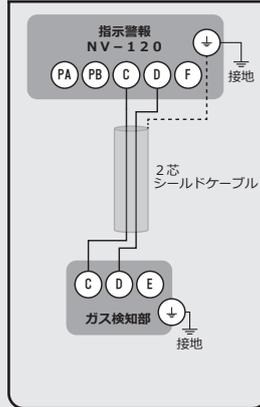
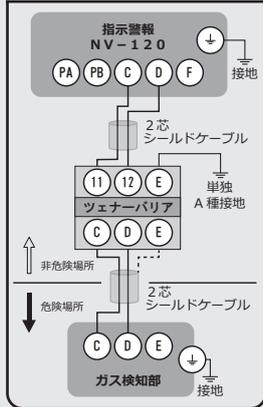
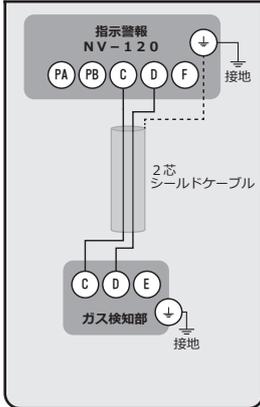
本質安全防爆工事

KS-2D / PS-2DE

PS-2DE

PS-2DP

PS-4DP



NV-120Hi

NV-120Ci

拡散式

吸引式

拡散式

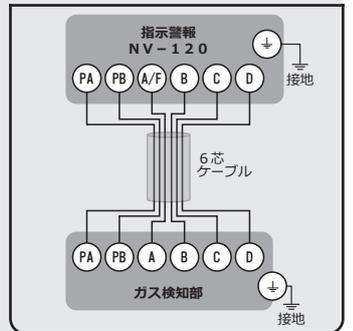
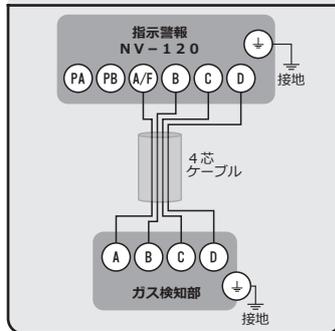
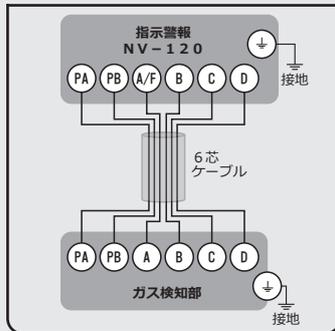
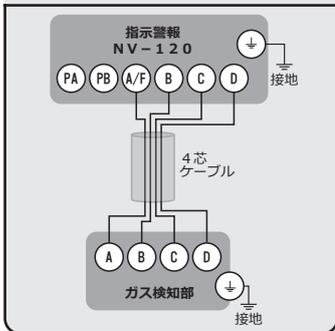
吸引式

KD-2A
KD-3A
KD-14A

PE-2DC
PD-14A

KD-2A
KD-3A
KD-14B

PE-2DC
PD-14B



【接点出力コモン端子の設定について】

警告

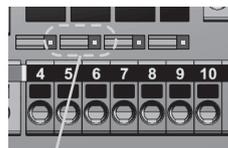
- ジャンパピン切替操作時は、必ず機器の電源及び接点に印加されている外部電源を両方 OFF にしてから作業を行ってください。基板のショート等による機器の破損、感電等による感電死のおそれがあります。

注意

- 機器内部にあるジャンパピンは、機器設定用のピンです。JP2 以外は触らないでください。
- 必ず同梱の「取扱説明書 設置編」をよく読んで理解してから配線作業を行ってください。

警報接点出力コモン端子の設定方法

本器の警報接点用のコモン端子 (ZC1、ZC2) は、独立コモン仕様がデフォルト設定となります。(特殊仕様は除く) 共通コモン仕様 (各コモンライン短絡状態) としてご使用になる場合は、機器内にあるジャンパピン (JP2) の位置を変更する必要があります。



JP2

図1 ジャンパピン

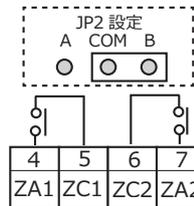


図2 独立コモン仕様
(デフォルト設定)

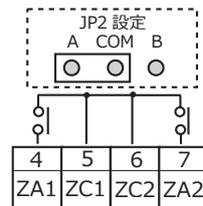


図3 共通コモン仕様

故障接点出力コモン端子の設定方法

故障・ブザー接点出力のコモン端子と警報接点出力のコモン端子は独立コモンとなります。共通コモン仕様としてご使用になる場合は、端子番号 5 または 6 と 10 を配線にて短絡する必要があります。

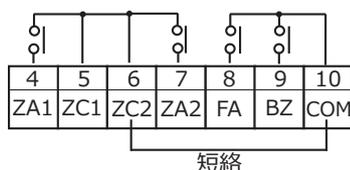


図4 故障警報接点の共通コモン仕様